

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

磯山 優

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、経営組織論や経営戦略論の基礎を学ぶと同時に、就職活動に備えて様々なスキルを身につけることを目的としています。そのため、単に書籍や文章を読むだけでなく、グループワーク、企業人との交流会などを通じていろいろなことを学べるようにします。本演習の特徴は以下の二つです。

① 本演習では、演習で行われることが多い、一冊の本を皆で読むという輪読は行いません。その代わり自分で好きなテーマを選び、そのテーマについてパワーポイントを用いてグループ内での発表や教員の前での発表を繰り返します。そのため原則として、

第一週…課題について討論

第二週…グループ内での発表

第三週…教員の前での発表

といったローテーションで進めていきます。

また、発表内容を学生同士で評価し合い、他人の発表を分析・評価する能力の向上も目指します。そのため、経営戦略論や経営組織論に興味を持つ自主性がある人を強く求めます。

加えて今年度から、新たな試みとして外部団体と連携しつつ、積極的に課題解決能力の向上に取り組んでいこうと考えています。今年度は、日本政策金融公庫と連携する予定です。

② 本演習のもう一つの特徴は、企業人との交流会です。企業人との交流会は、外部から一回に3人から4人の企業人の方をお招きして、集団でディスカッションする、という内容になっています。企業人の方のお話を聞くのではなく、積極的に話をするのが求められます。この授業により、コミュニケーション能力を高めるだけでなく、様々な業種に関する知識を身につけ、自分がその業種に合っているかどうかを判断する知識を養うことを目的としています。

2. 授業の到達目標

- ① 企業人との交流会やグループワークを通じ、様々な人たちとコミュニケーションする能力を身に付ける。
- ② 就職活動に必要な、企業や社会的情勢に関する基本的な知識を身に付ける。
- ③ 経営組織論もしくは経営戦略論に関する基本的な知識を身につけ、それを基に自分独自の研究を展開できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

(1)成績評価の方法

- ① 毎回、授業内容に関連した発表を行い、評価の対象とします。
- ② 学期末に自分の研究内容を発表し、評価の対象とします。

(2)成績評価の基準

- ① テーマに沿って自分の主張したいことを論理的に主張できるか
- ② パワーポイントを適切に用いてプレゼンテーションできるか

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。

参考文献

特に指定しません。

適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

各人の必要に応じて、事前に文献の講読を指示したり、自分で調査・研究することを指示することがあります。

6. その他履修上の注意事項

- ① WordやPowerPointなど基本的なソフトを使用できるようにしてください。
- ② 第一回の授業で履修状況の点検を行い、それを踏まえて履修指導を行います。
- ③ 夏休み中に課題を出します。
- ④ ゼミ交流会で自分たちのゼミの宣伝を行ってもらいます。
- ⑤ 初回の授業の時に、本授業で利用する外部サイトに接続するための必要な手続きを行います。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------|
| 【第1回】 | 授業内容紹介・履修指導 |
| 【第2回】 | PowerPointを用いた自己紹介・グループ分け |
| 【第3回】 | テーマ選択についてのグループワーク |
| 【第4回】 | テーマについての個人発表① |
| 【第5回】 | テーマについての個人発表② |
| 【第6回】 | テーマについてのグループワーク① |
| 【第7回】 | テーマについてのグループワーク② |
| 【第8回】 | テーマについてのグループワーク③ |
| 【第9回】 | 企業人との交流会① |
| 【第10回】 | テーマについてのグループワーク④ |
| 【第11回】 | テーマについてのグループワーク⑤ |
| 【第12回】 | テーマについてのグループワーク⑥ |
| 【第13回】 | テーマについてのグループワーク⑦ |
| 【第14回】 | 企業人との交流会② |
| 【第15回】 | 課題の個人発表 |